

# 反動の嵐に抗して！

2012年  
2月21日  
No.12

JR 東海労働組合  
台車検査車両所分会  
発行者 西村泰弘  
編集 教宣部

## 60歳以降の安定した雇用確保のために 国会議員への要請行動を展開！！

2月15日JR東海労は、JR 総連と田城郁参議院議員の協力のもと60歳以降の再雇用の完全確保に向け国会議員への要請行動を行いました。台検車両所分会からも2名の組合員が参加し、JR総連をはじめ各地方本部の組合員と共に衆議院、参議院の国会議員への要請を行ってきました。

要請行動の目的は

- ① 現在開催中の第180通常国会において、老齢福祉年金が満額支給される65歳までの継続雇用を義務付けるための法整備を早急に実現すること。
- ② 現行「高齢者雇用安定法」の雇用義務の例外措置＝「経過措置」を盛り込まないこと。
- ③ 「高齢者雇用安定法」を悪用した組織破壊攻撃・恣意的なボーナスカットを繰り返すJR 東海会社を厳しく指導すること。

当日は、50名以上の組合員が14班に分かれ、衆参両議員会館内の約150箇所の議員事務所を訪問してきました。要請行動では、すでに52歳で専任社員に再雇用されない組合員がいること、ボーナスカット5回で専任社員に採用しない厳しい「基準」があること、ボーナスカットがJR東海労組合員に恣意的に行われ具体的な理由も言わないこと、などJR 東海会社の現状を訴えてきました。そして議員、秘書の方から「60歳以降の雇用は確保されなければなりません」「大変な状況は良く分かります」「会長が葛西さんなら厳しいでしょう」などの感想もいただき、「できるかぎり訴えていきます」という力強い回答をいただきました。

